

## ◎寮務委員会

寮務主事 塚野 修

### 1. 学寮の運営基本方針

- [1] 寮生活の規則遵守指導
- [2] 学習支援
- [3] 寮内美化

### 2. 平成17年度実施計画

#### 2. 1 寮規則遵守の徹底

##### [1] 違反者に対する恒常的な指導

違反者に対するきめ細かい指導をできるだけ時を置かずに行った。

157人に対して指導を行った。複数回の指導を行った寮生もいた。

大きな違反を起こした場合や違反を繰り返した場合には保護者にも連絡を行った。

また、当直者には、点呼時や巡回時に不在の場合には保護者連絡をとるように徹底した。

##### [2] 年2回の個別評価と入寮継続審査の実施

###### ア 第1回審査：8月25日

問題のある寮生に対しては個別指導と家庭連絡を行い、9月の生活を見て最終判定することにしてはいたが、改善が見られたので継続在寮を許可した。

###### イ 第2回審査：3月9日

入寮継続審査の実施と日頃の細かい指導が効果を発揮したため、さらに、問題を起こした寮生を退寮させたために、第2回目の審査で不合格者はいなかった。

ただ、問題になる寮生はいるため、それらの寮生には厳しい指導姿勢で臨むことを表明した。

##### [3] 寮務委員による棟別分担指導

女子寮の指導は担当者となった主事補が積極的に行ったが、担当者によっては違反事項の集計にとどまった感があり、来年度の反省材料とする。

#### 2. 2 学習支援

##### [1] 上級生による下級生に対する定期的な学習支援

6月と7月の4回の日曜日に21:00過ぎから約2時間実施した。計30名程度の1, 2年生が参加し、指導は指導寮生が行った。しかし、9月以降については、参加希望者がなかったため、指導寮生が中止を決め、それ以降行われなかった。

##### [2] 教員による定期的な学習支援

18時前後を検討したが、寮生の夕食・入浴時間や課外活動の時間帯であるため、実施せず。また、学習時間帯の21時から23時の時間帯は支援を受けるには遅すぎる時間であったこと、また、宿直者は宿直業務のため、支援が難しいことから、実施できなかった。

##### [3] 雄北寮2Fの自習室の改善

学寮管理棟の自習室と雄北2Fの自習室の改善のための予算要求を行ったが、認められなかった。

## 2. 3 学寮保護者との連携

### [1] 寮生保護者連絡会の実施（秋の授業公開日に設定）

10月22日（土）（授業公開日）し、1年生の保護者を中心に、38家庭の参加があり、学寮の現状や行事について映像を交えて説明した。保護者からは質問や要望が出された。参加しなかった保護者にも学寮の現況を知ってもらうために、全保護者に保護者連絡会で用いた資料や個人の生活状況を郵送した。

### [2] 学寮保護者との懇談会の実施（7月の保護者懇談日に設定）

7月9日（土）、10（日）（保護者懇談日）に寮務主事、主事補、寮監が待機し、応対した。2日間で32名の寮生の保護者と面談した。また、問題の多い寮生の保護者には来寮してもらい、協力を依頼した。

## 2. 4 文化講演会の実施

目的：常識や社会性を身につけさせるため

### [1] 留学生による文化講演会の実施（年2回予定）

留学生の寮生（5年生）2名（アカラワットとチメデー君）による文化講演「私の母国を紹介します」を2年生を対象に1月26日（木）実施し、留学生との交流を行った。

### [2] 外部人材などによる講演会の実施

#### ア 外部人材による講演会

新居浜地区労働者福祉協議会のメンバーによるマネートラブルに関する講演「マネートラブルにかつ！」を11月17日（木）に4年生以上対象に実施し、マネートラブルへの注意を促した。

#### イ 寮務委員による講演

電気情報学科代表寮務委員が1月12日（木）中国の映画事情に関する講演を1年生対象に実施した。

#### ウ 機械工学科と生物応用化学科の代表寮務委員が春の学寮リーダー研修で学寮リーダー対象に講演を行った。

電子制御工学科代表寮務委員が夏の学寮リーダー研修で学寮リーダー対象に講演を行った。ともに、人間として、社会人として大切なことについての話であった。

## 2. 5 各種コンテストの実施

目的：自主性を養うため

寮生の創造性や協調性などを養成するための一つの方策

### [1] 寮歌制作

夏休み前に制作依頼を行ったが、応募はなかった。

### [2] ゴミ箱コンテストなどのコンテスト

学寮のロゴマークコンテストを実施した。1件の応募しかなかったが、これを採用した。

### [3] 『学寮向上プラン』（仮称）などのプラン作成と発表会など

ロゴマークと寮歌を優先したため、募集しなかった。

## 2. 6 特別残寮の見直しと改善

ア 課外活動の充実を図るため、夕食時間の延長を平成18年度から実施することにした。

イ これまで特別残寮期間中には食事の提供ができていなかったが、特別食事を提供できるようにした。

## 2. 7 施設改善

### [1] 居室の備品の更新

向陽寮、雄風北寮、雄風南寮の居室の机とイスを更新した。

### [2] 自習スペースの確保および改善（2. 2 [3] 参照）

予算要求をしたが、認められなかった。

### [3] 駐輪場の改修

できなかった。

### [4] 学寮管理棟のオープンスペースの改善

・収納畳と折りたたみ機の確保できなかった。

### [5] その他

男子浴室の改善（混合栓、シャワー、壁の塗り替えおよび貼り替え）

シャワー室の改善（換気扇の大型化、壁の塗り替えなど）

向陽寮屋上の防水工事を

向陽寮の漏水防止工事を

向陽寮と雄風北寮の玄関の人工芝の更新

食堂の厨房機器と食器の更新 など

## 2. 8 寮生の自主的活動の推進と支援

### [1] 自治会との共同清掃の実施

学校周辺の排水路の清掃を5月8日（日）に自治会の清掃に併せて実施した。

### [2] 国領祭でのチャリティバザーの実施

毎年行っているイベントで今年度も実施し、収益金のうち10万円を海外での心臓移植手術を予定している患者への支援を学生会と協同で行った。

### [3] 学校周辺清掃活動

冬に予定していた学校南側排水路や道路の銀杏の落ち葉清掃は日程の関係で実施できなかった。

## 2. 9 防災体制づくり

### [1] 火災や地震などの非常事態発生時の対応マニュアル作成

ア 火災や地震などの非常事態発生時の対応マニュアルを作成し、その発表・説明を2月の学年集会で行い、併せて棟内掲示もした。

イ 平成18年度新入生には4月に説明会を実施する予定である。また、配布する「寮生活のしおり」にも追記する。

### [3] 非常事態に対処するための訓練と指導

- ア 学寮防火避難訓練を7月1日（金）に消防局の協力を得て、実施した。
- イ 女子寮避難訓練（スローダン講習会）を9月10日（土）に業者の協力も得て、実施した。

○ 総括的な評価と課題

平成17年度の運営目標の一つの寮生活の規則遵守指導については、学年を問わず、きめ細かく、また、時間を置かずに実施できたと思われる。前期の半ばで、それまで多かった点呼不在が減少し、居室の清掃状況も改善された。規則を守れない、あるいは、指導しても改善できない寮生は退寮措置を取り、寮務委員会の厳しい姿勢を示した。しかし、高学年の指導が脆弱であったことは反省材料である。来年度に改善を図る予定である。

低学年の学習サポートに関しては、参加者を増やす努力が少し足りなかったもので、その努力も含めて、改善を図りたい。

協調性やチャレンジ精神を養うために企画したコンテストに関しても、寮生の意欲を引き出すことができなかつたので、寮生会との連携を密にして、多彩なコンテストを企画したいと考えている。また、ボランティア活動についても寮生の意識改革と実行に向けて、計画を練りたいと考えている。

防災避難マニュアルについては、その作成に時間がかかったが、形を整えることができた。